

平成 31年
4月7日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

宇都宮市・
上三川町選挙区

栃木県選挙管理委員会

子育て世代の代表。若い力で笑顔あふれる栃木を

小池あつし ◆プロフィール◆

○1976年日光市小林生まれ、宇都宮市中今泉在住。県立宇都宮高校を経て、2001年東京大学文学部卒、09年白鷗大学大学院法務研究科修了。

○民間企業を経て15年より福田昭夫衆議院議員秘書（政策担当秘書資格試験合格）、立憲民主党栃木県連合幹事。家族は妻と6歳になる長男。



- 1 働く者の声を届け、「働きやすいとちぎ」を
- 2 子育て・教育環境を充実し、「希望と未来をつくるとちぎ」を
- 3 地域の力を引き出し、「持続可能なとちぎ」を
- 4 お互いを尊重し支えあう「共に生きるとちぎ」を
- 5 生命と地域を守り、「安全・安心にくらせるとちぎ」を

生活と心のしあわせ実感へ

私たちがロジエ世代は、社会に出る際、就職や仕事、生活するうえで厳しい現実にはさらされました。今は子育て世代として、待機児や保育制度の質の問題、子どもの貧困、仕事と育児との両立などの課題に直面しています。

それゆえ、私たちは社会のセーフティネットづくりと弱い立場の方々に寄り添う政治の必要性をこの世代よりも強く感じています。だからこそ、政治を変え、栃木の未来を自分たちで拓きたいという思いを強くしました。

「小池あつし」は5つの重点政策を掲げ、県民のみならず生活と心のしあわせを実感し、笑顔であふれる栃木をつくる決意です。笑顔こそ、明日への活力と安心感を生み出す源です。



立憲民主党

こいけ
あつし
小池あつし

一九七六年五月二十五日生(42歳)

立憲民主党・小池あつしは県民の声をボトムアップで届けます

よしば 茂 プロフィール

作新学院高等学校 大東文化大学経済学部卒
平成 27年 栃木県議会議員 初当選
平成 30年 栃木県県土整備委員会 委員長
県民公園福祉協会 評議員
県ラグビーフットボール協会 会長
県/パワーリフティング協会 会長
県相撲連盟 副会長

- 大東文化大学ラグビー部主将 全国大学選手権出場
- 作新学院高等学校 教頭 生徒指導部長 ラグビー部監督 全国高等学校ラグビー大会 8年連続出場(通算12回) 関東高等学校ラグビー大会 10年連続出場(通算30回)
- 栃木県ラグビー協会 優秀監督賞
- 日本ラグビー協会 公認フリー 公認育成コーチ
- 栃木県教育功労賞 宇都宮市教育功労賞

輝くとちぎの未来づくりに 全力で応えます。

政 策

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| ① 人生100年時代
全世代型健康長寿のとちぎづくり | ④ 夢・希望が持てる
社会保障と共生社会の実現 |
| ② 子育て支援と元気で活力ある
青少年の健全育成とスポーツ振興 | ⑤ 農工商 産業観光振興による
とちぎの魅力創出 |
| ③ 自然災害に強い
県土インフラ整備と防災減災対策 | ⑥ 安心快適な
地域公共交通網の整備充実 |

決意と行動



自由民主党
よしば 茂
しげる

昭和24年4月10日生(69歳)

よしば 茂

実現力 No.1 「安心・安全」へ全力! 栃木の未来を拓く!

健康長寿の栃木を!

薬剤師である山口つねおは医療の充実・安全に全力投球

- ジェネリック医薬品の普及、肝臓重症化予防の推進
- ドクターヘリの導入実現、ドクターカーの導入推進
- 地域包括ケアシステムの構築と認知症対策の充実
- 危険ドラッグ乱用防止条例の制定

安全で活力のある栃木を!

「現場第一主義」こそ山口つねおの信条です

- 「県総合スポーツゾーン」の整備をいち早く議会で主張し実現
- 「県総合スポーツゾーン」を災害救済物資などの集積拠点として整備
- 東京オリンピック・パラリンピックのハンガリー選手団の誘致に尽力
- 東武宇都宮線「西川駅」バリアフリー化予算化が実現

子育てにやさしい栃木を!

教育費の負担軽減は山口つねおの一貫した主張です

- 幼児教育無償化、高校授業料無償化、給付型奨学金の拡大
- 第3子以降保育料無償化を実現

青年の活躍する栃木を!

「一人も置き去りにしない」これが山口つねおの信念です

- とちぎジョブモールの開設
- 不登校、ニートに悩む家族を支える相談窓口「ポラリスとちぎ」を開設

議会改革(歳費1割削減、定数2割削減、政務活動費5割削減)等で財源捻出

山口つねお

市議、県議として16年、全力で働いてまいりました。皆様には、多大なるご支持、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。医療、福祉をはじめ、頻発する災害に対応するため防災・減災対策に力をいれてまいりました。人口減少・超高齢社会に対応した地方創生や子育て支援にも、安心・安全をモットーとして命を守る取り組みに全力を注いでまいりました。

任んでよかった、住みたい、そして住み続けたい栃木県、宇都宮市を必ずつづけてまいります。

山口つねおは、誰よりも苦勞をし、一人でも多くの方の声を形にし、より安心して安全に暮らせる栃木の未来を拓いてまいります。今後とも、ご支持、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

- 昭和38年11月 那珂川町生まれ(55歳) ●家族構成:妻、長男 ●県立大田原高校卒業
- 東京理科大学薬学部卒業 ●昭和62年 薬剤師資格取得、同年 テルモ(株)入社
- 平成15年 宇都宮市議会議員に当選 ●平成19年 栃木県議会議員初当選(県議3期)
- 党栃木県本部代表 ●健康長寿とちぎづくり県民会議委員

<http://www.komei.or.jp/km/tochigi-yamaguchi-tsuneo/>



公明党
山口つねお

昭和三十八年十月月生(五十五歳)